

多角的な観点から 議論と検討が必要

国民一人一人が自分だけの番号(マイナンバー)を持ち、社会保障や税金などの分野で利用する番号制度のあり方を考える「マイナンバーシンポジウム in 滋賀」(番号制度創設推進本部主催、京都新聞社共催)が7月7日、滋賀県大津市のコラボしが21で開かれました。シンポジウムでは、政府関係者の説明を受け、識者による特別講演や税理士、弁護士を交えたパネルディスカッション、参加者とパネリストの質疑応答「国民対話」が行われ、活発に意見を交わしました。

主催者挨拶

峰崎 直樹氏 番号制度創設推進本部事務局長、内閣官房参与

国民の皆さまのご理解を得ることが大切



峰崎 直樹氏

現在の、国民の利便性の高い公平・公正な社会の実現のためには、国民の皆さまのご理解を得ることが大切です。本日、開催のシンポジウムを通じて、国民の皆さまのご理解を深めていただくことを目指します。今後、国会での審議を経て法案が成立となり、平成27年1月予定のマイナンバー利用開始までには、まだまだ多くの検討すべき課題があります。

政説明

篠原 俊博氏 内閣官房社会保障改革担当室参事官

公平・公正な社会の実現のために

マイナンバー(社会保障・番号制度)とは、国や地方公共団体などの複数機関がそれぞれ保有している年金、医療、福祉や税等の個人情報、同一人の情報であることを確認するための基盤で、社会保障や税制度の効率性と透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するためのインフラとなる



篠原 俊博氏

一人の情報相互に活用する③本人確認のために「マイナンバー」「基本4情報(氏名、住所、生年月日、性別)」「顔写真」などを記載した個人番号カードを交付します。また、個人情報の監視・監督のための個人情報保護委員会の設置や、従来にない厳しい罰則を設けるとともに、インターネット上で自分の個人情報の提供先やアクセス記録の確認、行政機関への手続き機能やサービス提供などのお知らせ機能を持つ「マイ・ポータル」を設置します。

特別講演

高野 一彦氏 関西大学社会学部 大学院社会学安全学専攻 大学院社会学安全学専攻 教授

わが国では近年、情報に関する様々な問題が露呈しています。国内では、官民双方における情報流出事件の頻発、民間企業が多様な方法で収集した個人情報情報を統合利用する際のプライバシー侵害問題などが挙げられます。わが国は、民間企業・公的機関と

法制度を国際水準に近づけていくべき

と指摘されていますが、マイナンバー法では独立性の高い監視機関が設けられ、またシステムの設計段階からプライバシーへの影響を評価するPIA(プライバシー影響評価)という制度が導入され、さらにマイナンバーに係る個人



高野 一彦氏

パネルディスカッション

パネリスト

鈴木 善充氏

近畿大学世界経済研究所専任講師、関西社会経済研究所 現・アジア太平洋研究所 元研究員

高野 一彦氏

関西大学社会学部 大学院社会学安全学専攻 教授

豊永 泰雄氏

日本弁護士連合会情報問題対策委員会委員

松田 昭久氏

近畿税理士会調査研究部副部長

峰崎 直樹氏

番号制度創設推進本部事務局長、内閣官房参与

篠原 俊博氏

内閣官房社会保障改革担当室参事官

桑原 毅

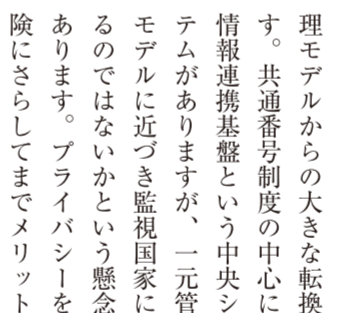
京都新聞社論説委員長

番号制度についてそれぞれの立場からお話をうかがいたいと思います。



豊永 泰雄氏

鈴木 社会保障・税一体改革のなかで、日本が抱える子育てや年金、医療などの諸問題解決のため、各省庁をまたぐ統制設計として必要な制度だと考えますし、導入により行政、とくに地方行政のメリット化が図られるのはメリットだと思います。半面、導入によるコストやプライバシー保護などの課題もあります。



松田 先ほどのいろいろ注文を申しましたが、この番号制度については、国民が将来にわたって安定した生活を送れる一つの道具として、公平に運用していただきたいと思っています。峰崎 現行制度では、情報をピンポイントで把握するのは非常に困難ですが、番号制度を導入し、活用することにより、受け手に合わせたきめ細やかなサービスの提供を目指したいと思っています。篠原 多角的な観点からご意見をいただきました。これを持ち帰り、政策としてどう生かしていくかを検討してまいります。

行政のスリム化はメリット プライバシー保護に懸念も 豊永氏

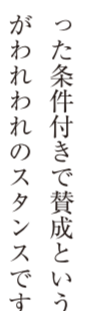
豊永氏

桑原 番号制度についてはまだまだ語られていないと感じます。この制度が少しでも皆さんの話題にのぼり、関心をもちたいと思います。篠原 番号制度についてはまだまだ語られていないと感じます。この制度が少しでも皆さんの話題にのぼり、関心をもちたいと思います。篠原 番号制度についてはまだまだ語られていないと感じます。この制度が少しでも皆さんの話題にのぼり、関心をもちたいと思います。



鈴木 善充氏

松田 先ほどのいろいろ注文を申しましたが、この番号制度については、国民が将来にわたって安定した生活を送れる一つの道具として、公平に運用していただきたいと思っています。峰崎 現行制度では、情報をピンポイントで把握するのは非常に困難ですが、番号制度を導入し、活用することにより、受け手に合わせたきめ細やかなサービスの提供を目指したいと思っています。篠原 多角的な観点からご意見をいただきました。これを持ち帰り、政策としてどう生かしていくかを検討してまいります。



松田 昭久氏

松田 先ほどのいろいろ注文を申しましたが、この番号制度については、国民が将来にわたって安定した生活を送れる一つの道具として、公平に運用していただきたいと思っています。峰崎 現行制度では、情報をピンポイントで把握するのは非常に困難ですが、番号制度を導入し、活用することにより、受け手に合わせたきめ細やかなサービスの提供を目指したいと思っています。篠原 多角的な観点からご意見をいただきました。これを持ち帰り、政策としてどう生かしていくかを検討してまいります。

参加者との質疑応答

参加者 高齢者や認知症の方で、マイ・ポータルを使えない人に対してはどのように対応されるのでしょうか。篠原 例えば役所の窓口にお越しいただき、そこで職員が手伝う、あるいは委任状があれば代理の方に手続きしていただくなど、総合的に考えていかなければならないと思います。

参加者 防災ボランティアを立ち上げているのですが、

篠原 非常に切実な問題です。今、内閣府の防災部局とも話し合っています。国としても番号制度を使っていることは最大限やりたいと思っています。その点を今後とも検討していきたいと思っています。

参加者 防災ボランティアを立ち上げているのですが、

篠原 非常に切実な問題です。今、内閣府の防災部局とも話し合っています。国としても番号制度を使っていることは最大限やりたいと思っています。その点を今後とも検討していきたいと思っています。

参加者 防災ボランティアを立ち上げているのですが、

篠原 非常に切実な問題です。今、内閣府の防災部局とも話し合っています。国としても番号制度を使っていることは最大限やりたいと思っています。その点を今後とも検討していきたいと思っています。

参加者 防災ボランティアを立ち上げているのですが、

篠原 非常に切実な問題です。今、内閣府の防災部局とも話し合っています。国としても番号制度を使っていることは最大限やりたいと思っています。その点を今後とも検討していきたいと思っています。

参加者 防災ボランティアを立ち上げているのですが、

篠原 非常に切実な問題です。今、内閣府の防災部局とも話し合っています。国としても番号制度を使っていることは最大限やりたいと思っています。その点を今後とも検討していきたいと思っています。

参加者 防災ボランティアを立ち上げているのですが、

篠原 非常に切実な問題です。今、内閣府の防災部局とも話し合っています。国としても番号制度を使っていることは最大限やりたいと思っています。その点を今後とも検討していきたいと思っています。

参加者 防災ボランティアを立ち上げているのですが、

篠原 非常に切実な問題です。今、内閣府の防災部局とも話し合っています。国としても番号制度を使っていることは最大限やりたいと思っています。その点を今後とも検討していきたいと思っています。



参加者から率直な意見や質問が活発に交わされた



マイナンバー制度のメリットやデメリットなどについて意見を交わしたパネルディスカッション